

支部だより

神奈川支部 支部長 高岩正男

第三十九回支部展は、四月二十四日(火)～二十九日(日)までの六日間昨年と同じアートガーデンかわさきにて開催しました。

作品は、会員十八名による絵画二十九点の力作がそろいました。来場者は昨年よりやや多い四百八名でした。今回は目黒喜六様が入会し、二点出品されました。他方、一名の方が休会となり、陶芸の出品がなくなりました。

私は病氣入院のため残念ながら支部展の全般は参加出来なかつたのですが、鈴木前支部長、事務局会計の山口恵様にしつかりカバーしていただき、また会員の皆様の初日から最終日までの各作業や会場当番への前向きのご協力により支部展は無事盛会裏に終えることが出来ました。

恒例の芳賀先生(外部審査員)をお招きしての講評では、各作品について色々「指導頂き一般的には 展示がすつきりしている」絵が良くなっている」との評価を頂きました。又、講評の後も先生にじっくり質疑



疑したり、会期中ベテランの方々に自分の作品について話を聞いていた姿が良く見られました。また会期中韓国

及び台湾の方から三点を入手したいとの希望が寄せられるといったハプニングもありました。今年も本部及び他支部から多くの方にご来場頂きました。誠に有難うございました。

埼玉西支部 支部長 高木 登

第四十一回埼玉西支部展は今年も川越市立中央図書館で五月一五日(火)より二十日(日)まで開催しました。百号の大作から四号程度の小品まで百点程の作品を展示しました。初日のオープンと同時に、たくさんの方が会場に足を運んでくださり、作品を前にしてギャラリートークが自然発生的に生まれて会場内はにぎやかでした。また、今年の埼玉西支部展は「川越市」「川越市教育委員会」「川越美術協会」から後援をいただくことができ、この支部展が地域の中に着実に根付き、地域文化の振興に寄与することが出来たように思います。



出品者による「作品解説会」も二年目となり、会員が一人三分という時間で、自分の作品について解説するというのがかなりの内容があるものですね。参加者からも好評でした。私自身は仕事の都合で毎日会場にいらることができなく、遠路お越しいただいた皆様にお会いして、作品の解説などができなく

申し訳なく思います。会場内にアンケート用紙を置いてあります「毎年楽しみにして見えています・・・」という感想も多数頂き心強く思いました。駅から少し距離のある会場ですが、新日美代表の森屋様、事務局の鈴木様をはじめ、委員の皆様、会員の皆様をはじめと多数の皆様にお越し頂きお礼申し上げます。

埼玉東支部 支部長 北條三郎

第三十七回支部展は、今年も春日部中央公民館ギャラリーで、四月二十四日(火)より二十八日(土)の五日間で開催した。今回は平日五日間で期間も短かつたにも拘わらず、六百五十六名の入場者を得、過去三十七回中一番の入場数でした。これは市内外二十一か所の公民館へ案内はがきの設置、各新聞社への案内(朝日、東京掲載あり)や力のある新人三名の入会、アプローチへ二十点の展示、高校生七名の動員等で総人員二十一名、七十九点(内三十号以上が三十八点)と皆が頑張ったせいかな大きな展覧会となった。

反省点として人物画が少なかった点、現状では高校生のおかげでうまく折り合っているが来年度は各自の努力によって人物、静物、抽象的なもの等、バランスの取れた発表会にしていきたいと考えている。アプローチ(廊下)は六号以下の作品でし、たが風景、静物、人物、抽象と楽しい作品ばかりで公民館利用者にも何名か誘導できたと思っている。

我々の平均年齢は七十を超えているがまだまだ全員若々しく今のメンバーで自信をもつて進んでいける気がする。九月初旬には本展への出品を目指し支部員十四名全員で画評会を行う事とした。おそらく五十号以上の大作ばかりで大変ではあるが一人でも多く入賞者を出したいと考えている。



又、今年度より絵画小品部門も新設されたので市展等の出品者に声掛けをし数名の応募者を募ります。高校生の作品は四点程出品します。

如何にしたら良い絵になるか自由に意見の言える画評検討会が楽しみです。今の予定では総勢二十一名くらいかと思われるが支部としては五名以上の入賞者を出したいと思っています。まずは、今年は大盛況のうちに支部展が終わりました。他支部から大勢のご来場を頂き紙面をお借りし、お礼申し上げます。

東京支部長交代

長期に亘りご尽力された大石さんが高齢のため永野さん(バトンタッチしました。大石さん有難うございました。永野さん宜しくお願いします。

編集主幹交代

編集主幹交代の編集主幹を担当して早八年を経過しました。この度、42回展実行委員長を引き受ける区切りで交代することにしました。後任の人は事務局長、代表、事業部長へ一任してあります。会報は本部の動きを会員にお知らせするだけでなく、紙面を通して会員相互の親交交流を深める役割もしています。今後とも積極的な投稿をお願いします。これまでのご協力有難うございました。 小高峯夫